

## 美大ワークショップ開催

当社サポートで実施される定例の多摩美術大学の今年度前期のワークショップは、意匠の表現方法の一つとして金属表面にお手軽にロゴや絵柄を入れられる「電解マーキング」です。ご存知でしょうか？電解マーキングは、シルクスクリーンの版等に施したロゴや絵柄を、電気と電解液の腐食作用で金属の表面に通電マーキングする技術です。電解マーキングや塗装によって製品に最終的な付加価値をあたえることで、製品の完成度が上がることを感じてもらえたと思います。バリエーションとして、電解マーキングした上に粉体塗装のキャンディカラーで着色することでさらに付加価値を上げる技法も紹介。すでに参加希望予約多数の次回の後期「粉体塗装ワークショップ」で実現可能でこちらも楽しみです！

当社としては、このような活動を通して、学生たちが加飾～塗装という分野に興味を持つことで、将来的な粉体塗装の発展に少しでも貢献できればと思います。

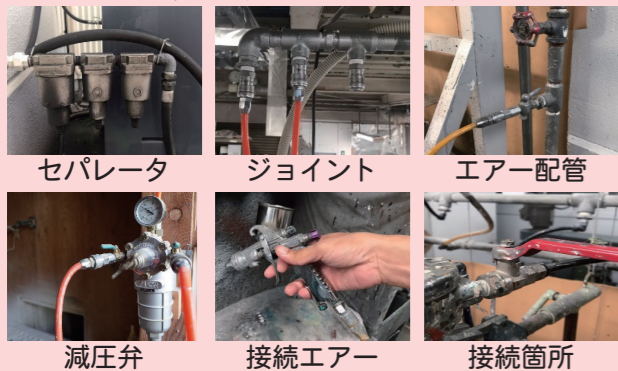
「電解マーキング装置 GP-8r」と「デジタルスクリーン製版機 GOCCO PRO100」は当社にてお取り扱いしています。ご興味のある方はお問い合わせください。



年間約  
**15万円!!?**  
エア漏れによる  
損と省エネ

高周波音のみを検知する特殊なカメラにより、工場の様々な塗装機器、塗装設備、エア配管からのエア漏れを検出します。エア漏れの箇所・量とそれによる年間損失額の計算もできます。(工場は稼働したままでOK!)  
当社の溶剤調色工場ではエア漏れが3か所あり、年間で約15万円の損失になることがわかりました。(もったいない!)

### エア漏れが発生しやすい箇所・部品



お客様の工場でも損が発生しているかもしれません。検査のご依頼やエア漏れ箇所の修理・部品交換は担当営業にご相談ください！

塗料・塗装資材の総合商社  
小ロット溶剤調色 小ロット粉体製造  
塗装機器・設備のコーディネーター

化学で人と自然の共生する明日へ

www.san-oh-web.co.jp

info@san-oh-web.co.jp



## 株式会社 三王

本社 〒110-0001 東京都台東区谷中2-6-29  
TEL:03-5842-1921 FAX:03-5842-1920  
埼玉支店 〒340-0013 埼玉県草加市松江6-4-34  
TEL:048-936-4981 FAX:048-931-8570  
粉体事業所 〒340-0004 埼玉県草加市弁天4-17-18  
TEL:048-931-2001 FAX:048-931-2141

SN-2022-10-015

## 塗膜物性検査試験③ 耐おもり落下性試験

JIS K5600-5-3



当社は、衝撃変形試験機を用いたデュボン式で試験を行います。試験方法に規定がない限り、半径6.35±0.03mmの撃ち型と受け台の間に塗板の塗面を上向きにして挟みます。そして質量500g±1gのおもり規定の高さからうち型の上に落とします。

検査結果で合格の時は塗膜がへこむだけで、不合格の時はひび割れや剥がれが発生します。焼きアマだったり、膜厚が厚い時も割れや剥がれが発生しやすくなります。  
コナールの検査ではエポポリ・ポリエステルでは30cm以上、高耐候ポリエステルは10cm以上としています。

合格

不合格

### 編集後記

SANO NEWS vol.15 をご覧いただきありがとうございます。編集長です。本号のテーマカラーは赤丹色です。丹とは土のことを指し、顔料として用いていた赤い土の色の呼び名です。モチーフは苺・レモンに続くフルーツとして、りんごをチョイスしました。温かみのある色合いのターゲットチェックと合わせて、柔らかい雰囲気のあるデザインになりました。本号は桃がどこかに隠れています。探してみてください。

PAINT  
COATING  
EQUIPMENT

# SANO NEWS

Paint & Coating Information

秋号

Vol.15

2022.10

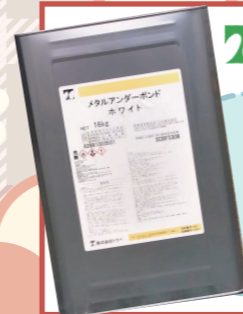
いつもお世話になっております。三王です。  
SANO NEWS Vol.15 をご覧いただきありがとうございます。  
本号のテーマは「CO<sub>2</sub>削減に向けた取り組み」です。  
たくさんの使える情報をお届けしますのでよろしくお祈いします！

Vol.15  
主な内容

プライマー紹介 …主力取り扱いプライマーを紹介！  
地球温暖化対策 …CCU・CCSとは？  
Zeroboardとは …なにをする？どんな効果？

## 主力取り扱い プライマー紹介

一括りにプライマーといっても、メーカーや種類によって特徴や強みは様々です。今号では当社で主に取り扱っているプライマーを6社6種類紹介いたします。詳しくは各担当営業までお問い合わせください！



TOHPE CORPORATION  
メタルアンダーボンド

建築、鉄材構造物、車両、電気機器等あらゆる素材の下塗りに使用できます。



ROCK PAINT  
ロックホールド

亜鉛メッキ鋼板、アルミ材等各種金属素材に塗装できるノンサンデキングタイプのプライマーです。



Basic & New  
日本ペイント  
ニッパ パワーバインド

様々な金属素材・上塗りに適するラッカー並みの速乾形塗料です。

DNT  
DNI/NIPON TORIO  
大日本塗料株式会社

メタルコング  
プライマー

各種金属素材、アルミ・ステンレス各種上塗りに対応できる厚膜型マルチプライマーです。



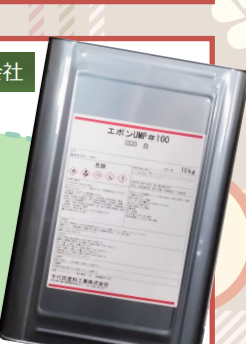
KUBOKO PAINT  
NDプライマー

常乾・焼付兼用タイプ。何にでも塗装できる為、NanDemo (なんでも) プライマー



千代田塗料工業 株式会社  
エポン UMP

調色可能なのが一番の特長です。下塗が見えてしまうトラブルを、上塗りと同じ色を下塗りすることで解決できます。



conall

conall Tone



Conallshot  
smart powder gun

MaSty co., LTD

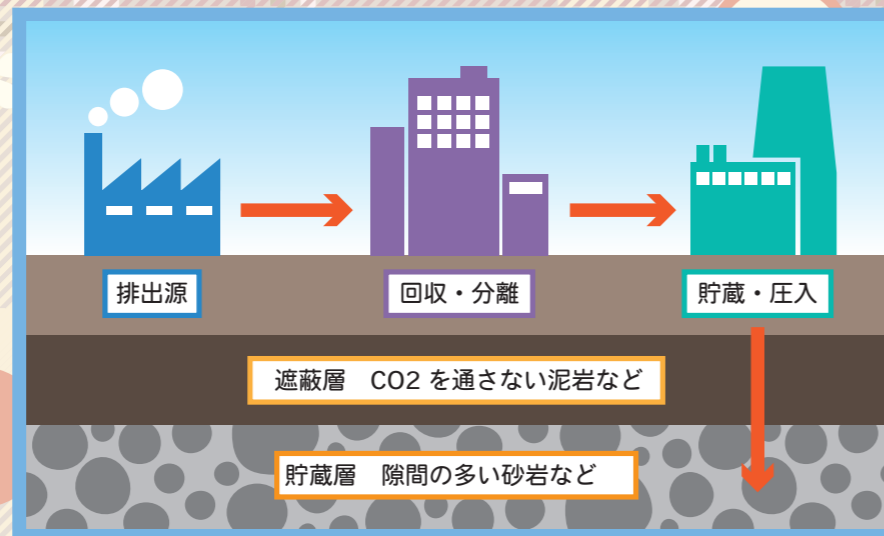
# 地球温暖化について

そもそも、なぜCO<sub>2</sub>を削減しようとしているのでしょうか。大きな理由として、地球温暖化対策があげられます。温室効果ガスのなかで、CO<sub>2</sub>は高い割合を占めています。そのため、CO<sub>2</sub>を削減することは地球温暖化など環境問題への効果が期待できます。SANOH NEWS vol.9でも少し触れましたが、地球温暖化は豪雨や暑さなどの気象災害を引き起こす原因の一つとされています。私たちの暮らしを守るためにも、CO<sub>2</sub>、ひいては温室効果ガスの排出量を削減、ゼロにすることは世界共通の大きな課題です。

とはいえ、CO<sub>2</sub>排出量をゼロにするのはとても困難です。たとえば、日本の発電量の多くを占めているのは火力発電です。火力発電所では石油や石炭など「化石燃料」と呼ばれる燃料を燃やすエネルギーで発電するわけで、つまり多量のCO<sub>2</sub>が排出されています。しかし、天候に左右されずすぐに安定したエネルギー供給ができる火力発電をいきなり止めるのは困難です。そこで、排出されるCO<sub>2</sub>の量を減らそうという取組みのひとつがCCUSです。



CCUSは、CCSとCCUという2つの言葉を合わせたものです。CCSとは、「Carbon dioxide Capture and Storage」の略で、「二酸化炭素回収・貯蓄」技術と呼ばれます。先ほど例に挙げた発電所や工場などから排出されたCO<sub>2</sub>を他の気体と分けて集め、地中深くにしまうことで結果的に大気へ放出されるCO<sub>2</sub>の量を減らすというものです。CCUは「Carbon dioxide Capture, and Utilization」の略で、分離したCO<sub>2</sub>をただ貯めておくだけでなく利用しようというものです。



日本では、2012年から北海道にてCCSの大規模な実証実験が行われており、2016年度からは海底にCO<sub>2</sub>を貯留する作業を開始しています。また、日米でCCUSの共同研究開発を促進するための協力文書が交わされるなど国際連携も進んでいます。

こうした取組みを通じて、CCUSの技術を確立し、CO<sub>2</sub>排出量削減に役立てていくことが期待されています。

## CO<sub>2</sub> 排出量の算出・把握

スコープ1（直接排出）及びスコープ2（エネルギー由来の間接排出）の効率的な収集・可視化はもちろんのこと、煩雑なデータ収集が必要だったサプライチェーン排出量（スコープ3）の算出を、グローバル基準に基づいて簡単に算出・可視化する事が可能で、様々なビジネスツールとの連携による入力作業の削減や、サプライチェーンの上流に位置する取引先企業からのデータ連携も可能としています。

## わたしも 家庭で CO<sub>2</sub>削減

国や企業単位での大きな事柄だけでなく、私たちにもCO<sub>2</sub>削減のためにできることがあります。ここでは、家庭などで実践できる簡単な取組みを紹介します。一人ひとりの力は小さくとも、多くの人が心掛ければ大きな成果が見込めます。

ほかにも様々な取組みがありますが、まずは『意識をする』という事から始めてみましょう！



家計にも優しい！

<p>冷房を1℃高く 暖房を1℃低く</p>	<p>買い物の際は エコバッグ持参で</p>	<p>シャワーは こまめに 止めましょう</p>
<p>おふろの残り湯を 洗濯に</p>	<p>照明を買い替える 時はLED等に</p>	<p>駐停車時は エンジンを 切りましょう</p>



zeroboardとは(株)ゼロボードが運営するクラウドサービスです。せっかく取り組んでもその成果が把握しにくいCO<sub>2</sub>削減ですが、zeroboardを使うことでCO<sub>2</sub>排出量を数値化し見える化することができるため、多くの企業や団体が採用し始めています。当社でもzeroboardを活用しさらなる削減に取り組んでまいります。zeroboardでは大きく分けて3つのアプローチでサービスを提供しています。

## 排出量の削減・カーボンオフセット取引

会社としてコミットしたCO<sub>2</sub>削減目標に基づく実績管理が可能で、zeroboardのパートナー企業のもつ削減ソリューションの提案や費用対効果のシミュレーション機能に加え、どうしても削減できない排出量については、プラットフォーム上でカーボンオフセットが可能としています。

## 情報開示・サプライチェーン内での可視化

統合報告書や各種調査機関向けの報告書作成機能に加え、省エネ法、温対法などの報告書式でのデータ取出し保存も可能で、社内、グループ内のデータ集計の労力が大幅に削減でき、さらに、zeroboardが提携している金融機関や自治体へのデータ開示や、納品先あるいは消費者へ提示するための商品毎のCO<sub>2</sub>排出量の算出機能を提供することで、非上場企業であっても、企業価値の向上や資本コストの低減といった形で、CO<sub>2</sub>排出量削減にメリットを見出すことを可能としています。

